粉じんのばく露を防ぐために

正しく防じんマスクを装着しましょう

適切な性能を有する防じんマスクを使いましょう

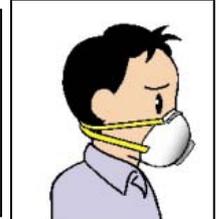
以下のいずれか一つ以上の合格・認定を受けた防じんマスクを使いましょう。

- 厚生労働大臣の型式検定
  例：DS2マスク　等
- NIOSH規格
  例：N95マスク　等
- 欧州規格（EN149）
  例：FFP2マスク　等

間違った防じんマスクのつけ方に注意しましょう

（使い捨て式防じんマスクについて「悪い例」の紹介）

しめひもが片側はずれている

マスクが上下逆さま

しめひもが首元で2本がけになっている

しめひもを加工して耳かけ式にしている

防じんマスクをつけた時の注意点について

しっかりと顔に密着させましょう

〇マスクの変形・破損が無いことを確認した上で取扱い説明書に従って装着を行う。

〇しめひも調節が行えるものは、必ず適切な長さに調節する

顔に密着しているか確認しましょう

〇取扱説明書に従って使用のたびに必ず顔に密着しているか確認しましょう。

〇もし、漏れ込みが感じられた場合は
①マスクの位置を調節する
②しめひもの長さを調節する　等
を行って再度確認してください

※注意事項
・防じんマスクの規格は性能に応じた種類がありますので作業内容に応じた防じんマスクを選択して下さい。
・酸素濃度18%未満の作業環境では絶対に使用しないで下さい。
・使用中にマスクが損傷したり、呼吸が苦しくなったり等の場合には速やかに安全な場所に移動してください

資料出典：（社）日本保安用品協会
日本呼吸用保護具工業会
スリーエムヘルスケア（株）

マスクのつけ方（Ｎ９５の例）

1) カップ型

① マスクの鼻あてを指のほうにして、ゴムバンドが下にたれるように、カップ状に持ちます。

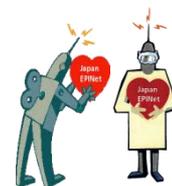
② 鼻あてを上にしてマスクがあごを包むようにかぶせます。

③ 上側のゴムバンドを頭頂部近くにかけます。

④ 下側のゴムバンドを首の後ろにかけます。

⑤ 両手で鼻あてを押さえながら、指先で押さえつけるようにして鼻あてを鼻の形に合わせます。

⑥ 両手でマスク全体をおおい、息を強く出し空気が漏れていないかユーザーシールチェックを行います。

職業感染制御研究会（JRGOICP）

マスクのつけ方（N９５の例）

2) 3つ折

①　マスクの上下を確認し、広げます。ノーズワイヤにゆるやかなカーブをつけます。

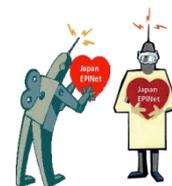
②　鼻とあごを覆います

③　マスクを押さえながら上ゴムバンドを頭頂部へ、下ゴムバンドを首まわりにつけます。

④　マスクを上下に広げ、鼻とあごを確実に覆います。

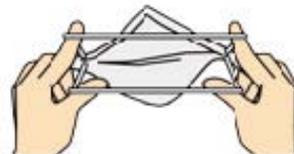
⑤　両手の指で鼻あてが鼻に密着するように軽く押します。

⑥　両手でマスクを覆い、空気漏れをチェックして密着のよい位置にマスクを合わせます。

職業感染制御研究会（JRGOICP）

マスクのつけ方（Ｎ９５の例）

3) くちばし型

① マスクを上下に下げ、ノーズワイヤーにゆるいカーブをつけます。

② マスクを上に掲げ、ゴムバンドをたらします。

③ 人差し指と親指で2本のゴムバンドを分けます。

④ゴムバンドを指で把持しながら、顎の下にマスクを当てます。

⑤ ゴムバンドを引き上げ、頭頂部と首の後ろにバンドをかけます。

⑥ ２本のゴムの角度は90度になるようにします。

⑦ ノーズワイヤを指で押し当て、鼻の形に合わせる。

⑧ ユーザーシールチェックを行い、フィットを確認します。

職業感染制御研究会（JRGOICP）